

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年5月14日	使用開始日	
登録診療科	血液内科	申請医師	上田 周二
レジメン名	R-ESHAP(ホスアプレビタント)		
疾患名	非ホジキンリンパ腫	適応の備考	CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫
適応分類			
1コース日数	28 日間	総コース数	6 コース
抗がん剤投与量・投与日	リツキシマブ375mg/m <sup>2</sup> day1、エトボシド40mg/m <sup>2</sup> 、シスプラチン25mg/m <sup>2</sup> 各day2-5、シタラビン2000mg/m <sup>2</sup> day6、ソル・メドロール500mg/m <sup>2</sup> day2-6		
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)	(day)		

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																											
	点滴静注	ブライミング用	/	/																												
2	主ルート	生食500mL	0.675 本 / m <sup>2</sup>		●																											
	点滴静注	リツキシマブ注	375 mg / m <sup>2</sup>	下記	●																											
10倍に希釈する。																																
3	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																											
	点滴静注	/	/	/																												
4	側管	生食250mL	1 本 / body			●																										
	点滴静注	ホスアプレビタント注150mg	1 本 / body	30 分		●																										
5	側管	ハロ/セトロン注ハツグ0.75mg	1 本 / body			●																										
	点滴静注	ソル・メドロール注	500 mg / body	15 分		●																										
6	側管	生食100mL	1 本 / body				●	●	●	●																						
	点滴静注	ソル・メドロール注	500 mg / body	15 分			●	●	●	●																						
7	側管	生食250mL	1 本 / body			●	●	●	●																							
	点滴静注	エトボシド注	40 mg / m <sup>2</sup>	60 分		●	●	●	●																							
100mg当たり、250mLの生食または5%ブドウ糖液に混和する。																																
8	側管	生食500mL	1 本 / body			●	●	●	●																							
	精密持続静注	シスプラチン注	25 mg / m <sup>2</sup>	24 時間		●	●	●	●																							
シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注																																
9	側管	生食500mL	1 本 / body							●																						
	点滴静注	シタラビン注	2000 mg / m <sup>2</sup>	3 時間						●																						
シタラビンと同量の生食を抜いてから混注する。																																
10	側管	生食50mL	1 本 / body	5 分						●																						
	点滴静注	/	/	/																												
	経口投与	ボララミン錠2mg	1-3 錠 / body			●																										
		ジクロフェナクNa錠25mg	1 錠 / body			●																										
リツキシマブ投与の30分前																																

【投与上の注意】

- ホスアプレビタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
- ホスアプレビタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
- day2以降のデキサメタゾン、ソル・メドロール注を投与するので不要とする。
- ホスアプレビタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+ステロイド注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。
- エトボシド: DEHPフリー点滴セット使用。
- シタラビン: 大量投与時、結膜炎予防のためのステロイド点眼を行う。例えば0.1%フルメロン点眼、1日3回、両眼、シタラビン投与前日から投与終了の翌日まで。
- シスプラチン: 24時間持続点滴で投与する。
- シスプラチン: 希釈は生食のみ。
- シスプラチン: 腎毒性軽減のためhydrationが必要。
- リツキシマブ: 前投薬としてボララミン(2)1~3錠、ジクロフェナクNa(25)1錠を内服する。
- リツキシマブ: 初回はECGモニターをつける。
- リツキシマブ: 投与速度 初回は50mL/hで開始し、30分毎に50mL/hずつ上げ、最大400mL/hまで。
- リツキシマブ: 投与速度 2回目以降は、医師の指示により、投与方法①、②から選択
- 投与方法①: 初回投与時に発現した副作用が軽微な場合、100mL/hで開始、30分毎に100mL/hずつ上げ、最大400mL/hまで。
- 投与方法②: 臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に発現した副作用が軽微、かつ投与前の末梢血リンパ球数が5,000/μL未満の場合、最初の30分で投与量の20%を投与、残り60分で投与量の80%を投与(90分間で投与)。
- hydrationのため、day2-6に主ルートから輸液を24時間持続投与する。